

物価高騰対策支援給付金 3 万円 生活保護含め、全非課税世帯へ給付を！

基準日に、「生活保護でも対象外」という矛盾の解決を

現在支給中の価格高騰重点支援給付金・3万円は、物価高騰に苦しむ住民税非課税世帯への支援を目的としています。支給の基準日が2024年12月13日になっており、その日に住民票が熊本にある非課税世帯が支給対象です。しかし、基

準日に生活保護受給世帯であっても対象外となるケースがあります。(2023年が課税世帯にいた場合等)

基準日に生活保護を含め非課税状態で支給されないのは矛盾であり、支給されるべきです。

市長が「非課税世帯の3万円は大きい」というなら支給を

新型コロナ禍の住民税非課税世帯等臨時特別給付金では、家計急変世帯等も対象として支給されていました。

上野みえこ議員の予算決算委員会質疑に、市長は「生活保護や非課税世帯の人に3万円は大きい」と答弁しました。

また、生活保護が対象外という矛盾は改善すべきの問いに「適切に対応する」と述べました。

市長は「適切に」と言うならば、家計急変で2024年度に非課税相当の生活状況にあり困窮するすべての人へ3万円の給付金を支給すべきです。

日本共産党
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議団

NO. 1402
2025年 3月2日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団

検索



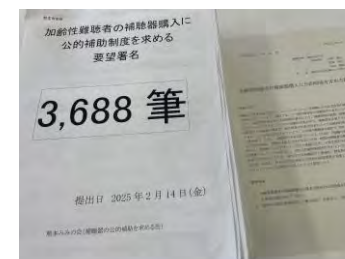
上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

補聴器購入への助成を求めて 「熊本みみの会」で署名提出 3,688 人

2月14日「熊本みみの会」は、熊本市に対し、高齢者の「補聴器購入助成」実施を求めて3688人の署名を提出、健康福祉局と懇談しました。提出には、補聴器を必要とする高齢者も複数参加し、助成の必要性を訴えました。党市議団も同席しました。



生活に欠かせない補聴器

参加者の一人は視覚障害があり、「日常の生活支援を受けるのにも、聞こえが悪いと頼むことすらできない」と必要性を訴えられました。

広がる全国での助成

政令市で相模原市・新潟市、東京23区のうち8つの区で実施。

熊本県下では、益城町・長洲町・五木村・和水町・芦北町などが実施。全国375自治体に増えています

【控室から】 お茶に親しむ

上野 みえこ

2月に「茶の湯にふれる市民講座」として、お菓子の老舗・虎屋の虎屋文庫主席研究員の方のお話を聞く機会がありました。「和菓子歳時記」と題して、代表的な年中行事とそれにかかわるお菓子の紹介から始まり、和菓子の歴史や楽しみ方など、幅広くお話しいただきました。

今年も3月です。日頃口にして、雛祭の菱餅や雛あられ・草餅などにも、その由来、時代の変遷、土地柄による違いなどがあることを詳しく聞くと、日本という国の歴史や育んできた文化の奥深さを感じずにはいられません。

DXが推進され、ネットやバーチャルな世界が注目される時代にはなってきましたが、人が日々の暮らしを通してつくり上げてきた歴史・文化は、日常生活に息づいています。

長年親しんできたお茶は、私にとって幅広い多くのものを学ぶ機会になっています。物や事象だけでなく、人とかかわりもまた、かけがえのないものです。そんな機会が持てることは、忙しい中であっても、なによりの喜びです。

市民の願いが届き、予算拡充へ

・・・2025 年度当初予算

市営住宅の修繕経費が増額 21億円が30億円に

毎年行っている市営住宅要望交渉で、繰り返し求めてきた老朽化した市営住宅の修繕経費が増額されました。

2024 年度 21.5 億円

↓

2025 年度 29 億 9,500 万円

熊本市の市営住宅は、1960～1980 年代前半に建設の施設が、約 4 割を占め、老朽化がすすんでいます。耐用年数（RC 造で 70 年）まで利用するため、外壁・屋上防水・ライフライン等の改修を行っています。

住民の要望に応えるための生活道路改修経費が増額

市民生活の安全・安心のためにも、住民が日頃使用する生活道路の維持・整備は重要です。

2025 年度予算では、市民からの要望に応えた生活道路の舗装・補修等を速やかに実施し

ていくための予算が 3 億円増額して、確保されました。



教育現場では、スクールカウンセラー・学級支援員増員

スクールカウンセラーの 配置拡充

いじめ・不登校等の児童・生徒の心のケアを専門知識・技能で行うスクールカウンセラーの配置時間が 1.3 倍に拡充。

2024 年度 12,171 時間

2025 年度 12,898 時間

学級支援員の増員

担任教諭等を補助する学級支援員は、特別な配慮を必要とする児童生徒の増加、特に医療的ケアを必要とする児童生徒の増を踏まえ、2025 年度は看護師・5 人増で 192 人に。

2024 年度 187 人⇒2025 年度 192 人

日本共産党熊本市議会だより 2025 年 3 月 2 日号 (No.1402)

TSMC 熊本進出で影響が懸念される 地下水の涵養・汚染対策の拡充を！

2025 年度「有機フッ素化合物対策専門家会議」設置 JASM で使用する有機フッ素化合物の調査・検討を

2024 年度補正予算に有機フッ素化合物対策経費として「有機フッ素化合物対策専門家会議」開催経費 12 万 4,000 円が予算化され、2024 年度 1 回、2025 年度 3 回開催の予定です。（2025 年度 149 万円）

予算決算委員会締めくくり質疑で上野みえこ議員は、「稼働した JASM 第 1 工場で使用される有機フッ素化合物（PFBS、PFBA、PFPeS）は調査・検討されるか」質しました。

市長は、「専門家会議は、熊本市の地下水等から検出される有機フッ素化合物について、発生源の調査・対策に必要な技術的事項を審議するもので、埋立処分場の対策等も審議する」と答弁しました。

継続的な調査・検討を

基準値超過の PFAS 検出は、全国的問題であり、予防原則の立場で厳格な対応が求められます。専門家会議は 2026 年度以降も継続的開催が必要です。

地下水涵養対策拡充へ、湛水事業の目標引上げが必要

白川中流域の水田湛水事業の 2025 年度目標値は、2024 年度と同じ目標です。

しかし、JASM 進出による開発や地下水汲み上げなどの影響を考慮するならば、目標は引

上げるべきです。予算決算委員会で市長は「次期地下水保全プランで見直す」と答弁しました。次期計画がスタートする 2026 年度目標からの見直しとなる予定です。